

2024 県工東京倶楽部「浜離宮」散策レポート

昭和42年度 電子科卒 阿部政芳



県工東京倶楽部が秋の親睦会として実施している恒例イベントを11月16日(日)、東京都中央区の「浜離宮恩賜庭園(はまりきゅうおんしていえん)」にて開催しました。この日は曇り空でしたが暖かく散策にはちょうど良い日中で、7名が参加しました。参加をメール会員へ呼びかけましたが少人数での親睦会となりました。

JR 浜松町駅前に集合し、徒歩で浜離宮へ向かい大手門から庭園へ入りました。庭園の散策では庭園ボランティアガイドの案内で1時間40分ほど庭園の歴史背景や自然環境条件などの説明を受けながら、国の特別名勝に指定された東京の大名庭園の一つ、美しく整備された庭園を散策しました。この浜離宮恩賜庭園は江戸城の出城であり、海防の役割も担っていたので浜離宮の大手門入口には、その石垣

が残っていました。六代将軍家宣(いえのぶ)の時代に植えられた黒松「三百年の松」が太い枝を堂々と低く張り出していた。お花畑には白いコスモスが咲いていた。また、冬に咲くコブクザクラ(子福桜)を観ることができた。東京湾の海水を池に引き入れた池「潮入りの池」は庭園の主役的な景観の一つになっていた。池の小島を結ぶ白い総檜造りの橋「お伝え橋」などを散策しました。

庭園散策の後は、園内の「野外卓広場」で昼食としました。食事の弁当は当日東京駅構内の駅弁屋で手に入れた有名駅弁を堪能した。昼食の後には「おらがふるさとの思い出話し」でメンバーの親睦を楽しみました。参加者は山崎さん、緑川さん、村上さん、長谷川さん、阿久津さん、高野さん、幹事の阿部の計7名でした。



「潮入りの池」と遠方に「中島の御茶屋」



庭園ボランティアガイドの説明を受ける



中島の御茶屋



三百年の松



庭園内の野外卓広場での昼食、懇親会



浜離宮庭園散策メンバー